



令和 8 年 1 0 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園 長 大塚 玲華

「心と体を弾ませる」

主任教諭 中村 咲希

雨模様の日が続き、スッキリとした晴れ間が待ち遠しいこの頃ですが、少しずつ秋の気配を感じるようになりました。雨の止み間を見つけ、子どもたちは園庭に飛び出し、どんぐりを見つけたり思い切り走ったり、先生や友達と様々な遊びを通して、心と体を弾ませています。

さて、私は以前、前任園で『運動遊び』についての研究を行いました。研究では子どもたちが運動遊びを通して、何を体験しているのかを、様々な遊びの場面から分析しました。研究から、運動遊びを通して次のことを体験していることが分かりました。

<動きの質の深まり>

- ・思わず自分もやりたくなる
- ・いろいろなやり方で動く
- ・自分の動きに目的をもって工夫して動く

やりたいと感じて自分から運動遊びをする中で、多様に動いたり、こうしようと考えて動いたりすることで動きの質が深まっています。

<人とのかかわりの深まり>

- ・自分から動く
- ・先生と友達と動く
- ・学級のみinnで動く

自分から運動遊びに取り組む中で、先生や友達、学級のみんなと体を動かし、人との関わりも深まっています。

堀ノ内子供園の子どもたちはどうでしょう。
先日、子供園に「不思議な扉がありますよ!見付けてね」という手紙が届いたあと、園庭に不思議な扉が現れました。子どもたちはそれから繰り返し、扉の向こうの世界のイメージを楽しみながら、体を動かしています。

3歳児は不思議な扉を通して動物の世界に出掛けると、自分も動物になったつもりでやってみたいと【感じて】動き、繰り返してどんどん【自分から】動いていきます。

4歳児は走ったり跳んだりして【多様に】動き、時には【先生】や【友達】と触れ合ったり同じ動きをしたりして遊んでいます。

5歳児の運動遊びのタイヤ取りではタイヤを取るぞ!という目的に向かってたくさん【考え】ています。また、チームの【みんな】と「笛の合図で急いで取りに行こう!」と話す姿もあります。3・4歳児よりもさらに動きの質と人との関わりが深まっています。

このように子どもたちは心と体を弾ませながら運動遊びをする中で、**動きの質と人との関わり**を深めています。これはこの運動遊びを通してどのようなことを幼児に体験してほしいか、職員間で話し合い、援助や環境を工夫していることによるものです。今後も幼児が心と体を弾ませることが出来る保育を工夫していきます。

10月10日はいよいよ待ちに待った運動会です。今年度は「不思議な扉」という大きなテーマに、それぞれの学級がもつイメージを楽しみながら、様々な運動を楽しみます。日頃楽しんでいる遊びや、力を発揮することを保護者の方に見てもらうことを楽しみにしています。保護者の方と一緒に、子どもたちが心と体を弾ませている姿を一緒に感じ合えたら嬉しいです。

・今月の指導・

うさぎ組

2学期が始まりました。「車に乗りたい」、「ジュースを作りたい」など、「こんなことしたい」と思ったことを保育者と一緒に実現していくことを楽しんでいます。自分のやりたいことを楽しむ中で、他の幼児がしていることにも関心が向き始め、他の幼児がしていることをまねして自分の遊びに取り入れたり、他の幼児と同じものを持ったり、一緒に動いたりすることが嬉しい姿も見られるようになってきました。

また、たくさん走ったり、動物に変身したり、アスレチックをしたりして様々に体を動かして遊んでいます。やってみたくと思った環境に自分から関わったり、保育者と一緒に動いてみたりして、体を動かして遊ぶ楽しさを感じています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 興味のあることや同じ場にいる幼児と触れ合う。
- のびのびと体を動かす心地よさを感じる。
- 保育者に見守られながら身の回りのことを自分でしようとする。

遊びの中で楽しんでいることが自然な流れで運動会につながっていけるようにします。園全体での活動や体を動かす活動も多くなっていきます。ご家庭ではぜひゆったり過ごすようお願いいたします。

きりん組

園に現れた不思議な扉をきっかけに始まった森の探検ごっこや運動遊びを楽しんでいます。森の生き物になって遊んだり、ダンスをつくったりしています。また、リレーやかけっこ、綱取りにも繰り返し取り組み、友達や保育者と一緒に体を思い切り動かしています。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- 園全体や学級の共通の目的に向かって自分の力を発揮し、やり遂げる満足感を味わう。
- 友達と共通のめあてに向かって思いや考えを出し合い受け止め合いながら遊びを進めようとする。
- 勝つ嬉しさや負ける悔しさを繰り返し味わい、勝つために自分の力を発揮したり、チームの仲間と力を合わせたりする。

今月も体をたくさん動かして遊ぶことを楽しんだり、司会や係活動に向けて自分の役割に取り組んだり、運動会という共通のめあてに向かっていきます。自分の気持ちと向き合ったり、友達と気持ちを合わせたりする場面が増えていきます。園とご家庭と連携して一緒に心の成長を支えていきたいと思っています。変化があればお知らせください。ご協力をお願いします。

ぱんだ組

一人ひとり、自分がイメージする魔法使いになりきって、薬屋さんや呪文の学校ごっこ、箒で空を飛ぶ練習など、「こんなことをしてみたい!」と思いついたことをしながら、保育者や同じことをしている友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいます。学級全体でも魔法で変身し、皆でいろいろな体の動きをすることを楽しんでいます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 気の合う友達と関わって遊ぶ中で自分の思いを出して遊ぶ。
- 友達と関わる中で遊びに必要な言葉が分かり、自分で伝えようとする。
- 思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。

「魔法」というイメージをもとに、走ったり、玉を投げたり、踊ったり、保育者や友達の動きを感じたりしながら、思い切り体を動かす楽しさを感じられるようにしていきます。

学級の活動をきっかけの一つとして、やりたいことを見付けたり、友達と大まかな同じイメージの中で動いたりしていけるようにもします。友達との関わりでは、それぞれの思いを言葉にし合えるようにやりとりを支えています。友達と関わる分、いざこざも増えてくるかと思います。楽しそうな姿や気になったことなど、何でもお気軽にお声がけください。

